政府機関等における耐量子計算機暗号（PQC）利用に関する関係府省庁連絡会議幹事会（第３回）議事要旨

１　日時

令和７年10月７日(火)16:00～17:00

２　場所

中央合同庁舎第８号館特別大会議室

３　出席者

○議　長

西山　英将　　内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）

○副議長

髙橋　文武　　内閣官房内閣参事官（国家安全保障局）

杉本　貴之　　内閣官房内閣参事官（国家サイバー統括室）

○主　査

中川　拓哉　　デジタル庁統括官（デジタル社会共通機能担当）付参事官

梅城　崇師　　総務省サイバーセキュリティ統括官付企画官

武尾　伸隆　　経済産業省商務情報政策局サイバーセキュリティ課長

○構成員

石谷　寧希　　内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）

佐藤　彰洋　　内閣府科学技術・イノベーション推進事務局企画調整官

森田　正敏　　警察庁長官官房技術企画課長

増原　剛輝　　デジタル庁統括官（戦略・組織担当）付参事官

荒木　美敬　　外務省大臣官房情報システム総括課上席専門官（代理出席）

田渕　敬一　　文部科学省研究振興局基礎・基盤研究課量子研究推進室長

黒田　隆之助　経済産業省イノベーション・環境局イノベーション政策課調整官（代理出席）

荒　　心平　　防衛省整備計画局サイバー整備課長

４　議事要旨

○冒頭挨拶

西山議長から、連絡会議で定めた「検討すべき論点」のとりまとめの方向性について、議論を行う旨挨拶がなされた。

○議事

（１）検討すべき論点のとりまとめの方向性について

検討すべき論点のとりまとめの方向性について、意見交換が行われ、以下

のような発言があった。

〇荒木外務省大臣官房情報システム総括課上席専門官

・PQC への移行が必要となった場合、行政文書の改ざん防止策等として公開鍵暗号が利用されている署名についても、PQC を利用した署名に切り替えていく必要が出てくるか。

〇梅城総務省サイバーセキュリティ統括官付企画官

・CRYPTREC 暗号リストの公開鍵暗号の技術分類として、署名、守秘、鍵共有があり、公開鍵暗号を利用している署名も対象となるものと理解している。

〇武尾経済産業省商務情報政策局サイバーセキュリティ課長

・政府機関等に限らず、今後、重要インフラ事業者を含めた民間部門の移行も必要となってくるものと考えている。

〇杉本内閣官房内閣参事官

・重要インフラ事業者を含めた民間部門の移行については、今後、関係府省庁での議論が必要になるとは考えている。

・本年には骨子をとりまとめ、令和８年度中に工程表（ロードマップ）を策定することを予定している。

（2）その他

杉本内閣官房内閣参事官から、デジタル庁と協力し、政府機関等に対して実施した暗号移行に係る調査の状況について報告された。

〇今後の予定

・次回は、検討すべき論点のとりまとめを行うこととされた。